

走行予定日：令和3年5月9日（日）

※順番は走行市町順、次いで五十音順

走行市町	氏名	年齢 (令和3年 5月9日 時点)	住所	令和元年度聖火ランナー応募時の 自己PR・応募動機・推薦理由(抜粋、要約) ※現在の情報とは異なる場合があります
太良町	さかぐち りえこ 坂口 理恵子	55	太良町	佐賀県有明海漁協大浦支所女性部 部長。 竹崎コハダ女子会の中心メンバーとして、コハダ 食堂を期間限定で営業し、積極的に地元産品 の普及活動に取り組む。
	ひでしま ひろし 秀島 寛	61	太良町	消防団長として町の安心・安全に長年にわたり 尽力。 太良町商工会会長として町内商工業の発展に も貢献した。
鹿島市	うちだ しのぶ 内田 忍	35	佐賀市	イチゴをメインに米・麦・大豆の農家。 JA女性組織の若手世代で構成する「フレッシュ ミズ東与賀」副部長。若手リーダーとして地域 活性化に取り組む。
	くまがい しゅうへい 熊谷 周平	31	鹿島市	地域貢献として消防団に所属。 地元の小学生の剣道指導を行う。 地域のお祭りでは、伝承芸能(獅子舞や鐘浮 立)に取り組む。
嬉野市	そえじま さとし 副島 哲	43	嬉野市	視覚障害を持ちながらも、バリアフリーツアーセ ンター理事や嬉野ゆのまち音楽彩You音ボラン ティア活動を積極的に行う。
	たぐち さえか 田口 沙瑛夏	19	佐賀市	龍谷高校生。さが総文生徒実行委員会のパ レード部に所属し、運営のみならず、演出など 様々なアイデアで大会を盛り上げ、参加者のお もてなしを行った。
白石町	たじま かおる 田島 芳	45	白石町	四国から白石町に移住。れんこんの海外進出 (世界普及)を目指すれんこん農家。
	みやざき みつひろ 宮崎 充宏	50	佐賀市	佐賀県自閉症協会主催の「佐賀県自閉症児・ 者療育キャンプ」のボランティアを中心的な立場 で、26年間継続。
武雄市	おおば こうき 大庭 弘毅	68	武雄市	武雄中学校・元校長。教育委員会では、生涯ス ポーツ・競技スポーツの振興に努める。 退職後は、NPOスチューデント・サポート・フェイ ス理事。 「たけお若者サポートステーション」責任者とし て、若者及び若年無業者の就職・進学など自立 に向けた支援に携わる。
	なかむら とよこ 中村 豊子	70	武雄市	武雄町区長会会長。「武雄温泉春まつり」実行 委員長。 ボランティア活動として、子供達の登校時の交 通誘導を7年間行っている。 「なかよし川原っ子」を立ち上げ子供の居場所づ くりに取り組む。 地域の伝承芸能(浮立・川良荒踊り)の復活、継 承にも尽力。

走行予定日：令和3年5月9日（日）

※順番は走行市町順、次いで五十音順

走行市町	氏名	年齢 (令和3年 5月9日 時点)	住所	令和元年度聖火ランナー応募時の 自己PR・応募動機・推薦理由(抜粋、要約) ※現在の情報とは異なる場合があります
有田町	うちだ たくま 内田 琢馬	18	伊万里市	有田工業高校生、陸上部。 車いすマラソンランナー。
	やまのうえ あすか 山之上 飛鳥	18	有田町	武雄高校生、第8代目高校生平和大使。「核兵器の廃絶と平和な世界の実現」を訴え、毎年国連欧州本部へ届ける「高校生1万人署名」を集めるため、毎月街頭で署名活動を行っている。
伊万里市	まつもと まり 松元 麻理	58	伊万里市	ジュニアバレーボール指導者として、競技の普及やレベルアップに尽力。昨年、伊万里ジュニアチームを全日本小学生バレーボール大会優勝に導いた。 伊万里市民賞、佐賀県スポーツ功労賞を受賞。
	たじま あゆみ 田嶋 杏美	17	太良町	祖母の影響で民謡を習い、全国大会に出場し、4位の成績を納めた。 佐賀県の方々と聖火を東京へと繋げていく手伝いをしたい。
玄海町	みやほら ゆう 宮原 優空	16	小城市	マラソン大会に出場した際にボランティアの活動に感銘を受けてから、自身も積極的にホテル存続のための清掃活動や24時間マラソンの募金活動などボランティア活動に従事。
	いのうえ あゆ 井上 愛結	16	唐津市	唐津東中学生、バスケットボール部。 佐賀県U15国体強化選手。
唐津市	かどわき めぐみ 門脇 恵	35	佐賀市	林業女子会@さがが会長。 東京から佐賀市富士町に移住し、地域おこし協力隊として地域の活性化に尽力。林業や山で活動する楽しさ面白さを共有する活動をしている。 ローカルメディア「佐賀のお山の100のしごと」編集長として、山の魅力を発信している。
	PRに資する聖火ラン カノエ ラナ	25	—	佐賀県唐津市出身。現在は上京し、東京を中心に音楽活動するシンガーソングライター。 地元佐賀県を誇りに思い、作曲し歌うことで、佐賀の魅力を全国に発信。
	やまぐち ひろみ 山口 ひろみ	50	唐津市	安心して子育てができる街づくりを目指して、NPO法人唐津市子育て支援情報センター長を設立当初から15年間務めている。地域の乳幼児の親子と中学生が交流する中学校子育てサロンを7年前から開始。
	ラマ カンチャ	38	唐津市	農業経営をするために唐津市に移住。雇用型農業経営でフルーツトマトなどを栽培。県国際交流協会の災害時防災マニュアル作成委員を務めるなど様々な地域活動にも参加。 九州・沖縄地区青年農業者会議で「どこでも誰でもできる農業」をテーマに最優秀賞を受賞。来年は、全国大会に出場する。